

ハイボンド レジグラス

【禁忌・禁止】

本材又はグラスアイオノマーセメント、メタクリレート系モノマーに対して発疹、皮膚炎等の過敏症の既往歴のある患者には使用しないこと。

**【形状・構造及び原理等】

**【構成】

* 本材は、X線造影性を有する歯科合着用グラスポリアルケノエート系レジンセメントであり、粉15g入り、液8.6mL(10g)入りである。

構成	性状	成分
粉	粉	フルオロアルミノシリケートガラス、添加材、着色材、その他
液	液	ポリアクリル酸水溶液（ポリアクリル酸、精製水）、2-HEMA、その他

【原理】

フルオロアルミノシリケートガラスとポリアクリル酸水溶液との酸-塩基反応及びメタクリロキシ基によるラジカル重合反応により硬化する。

【使用目的又は効果】

歯科修復物又は装置の口腔内硬組織若しくは装置への合着に用いる。

**【使用方法等】

**【使用方法】

- 1) 仮封材又は仮着材の除去
仮封材又は仮着材をきれいに除去し、通法により水洗、乾燥します。
- 2) 歯髄保護
露髄又は窩洞が歯髄に近接した場合は、水酸化カルシウム製剤等を用いて歯髄保護を行います。
- 3) 修復物の準備
修復物の接着面を清掃します。
- 4) 粉液の採取（標準粉/液比は、1.6g/1.0g）
粉量計（小）1杯の粉に対して液1滴、又は、粉量計（大）1杯の粉に対して液2滴を取ります。
- 5) 練和、接着
粉と液を紙練板の上に採取し、プラスチック製スパチュラを用い、20秒間練和後、練り上がったセメント泥で通法に従って接着します。
操作時間（23℃）：3分30秒（練和開始から）
硬化時間（37℃）：7分（練和開始から）
- 6) 余剰セメントの除去
余剰セメントがゴム弾性を示した時点（装着後約2分30秒～3分30秒）で、インスツルメントにより除去します。

【使用方法に関連する使用上の注意】

- 1) ユージノール系裏層（装）材は使用しないこと。
- 2) ユージノールを含まない仮封材、仮着材を使用すること。
- 3) 室温が23℃より高い場合、操作時間及び硬化時間は短くなります。
- 4) 粉を採取する際は、付属の粉量計を用いてすり切ることにより計量すること。（ただし、繰返しすり切るとは行わないこと。）
- 5) 液を採取する際は、容器を逆さにして気泡を抜いてから計量すること。
- 6) 正しい計量のために、液容器のノズルに付着した液は、湿ったガーゼなどで拭き取ること。
- 7) 粉及び液の容器は、使用后すぐに密栓すること。特に粉は、湿気に触れないように注意すること。
- 8) 金属製スパチュラを用いるとセメント泥が若干黒変し、操作・硬化時間が短くなるので使用しないこと。
- 9) 補綴修復物からの余剰セメントの除去タイミング（標準：2分～3分30秒）は、装着のタイミングに応じて前後するので、探針等でゴム弾性を示した時点を確認後、除去すること。

**【使用上の注意】

【重要な基本的注意】

- 1) 本材の使用により発疹、湿疹、発赤、潰瘍、腫脹、かゆみ、しびれ等の過敏症状が現れた患者には使用を中止し、医師の診察を受けさせること。
- 2) 本材の使用により発疹、湿疹、発赤、潰瘍、腫脹、かゆみ、しびれ等の過敏症状が現れた術者は使用を中止し、医師の診察を受けること。
- 3) 本材又はグラスアイオノマーセメント、メタクリレート系モノマーに対して発疹、皮膚炎等の過敏症の既往歴のある術者は使用しないこと。
- 4) 粉、液又は練和物との接触による過敏症を防ぐため、医療用（歯科用）手袋及び保護眼鏡の着用等の防護措置を執ること。また、口腔軟組織や皮膚に付着した場合には、すぐにアルコール綿等で拭った後、大量の流水で洗浄すること。
- 5) 粉、液又は練和物が万一目に入った場合には、すぐに大量の流水で洗浄し、眼科医の診察を受けること。

【保管方法及び有効期間等】


【保管方法】

- ・本材は、高温、多湿、直射日光、火気等を避けて室温（1～30℃）で保管すること。
- ・本材は、歯科の従事者以外が触れないように適切に保管・管理すること。

【有効期間】

本材の使用期限は包装に記載のとおり。

【当社データによる】

※（例） YYY-YY-MM-DD は一使用期限 YYY年 MM月 DD日を示す

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者 株式会社 松風
住所 〒605-0983
京都市東山区福稲上高松町11
電話番号 075-561-1112